

会議録

会議の名称	令和8年度 第1回阿見町地域公共交通活性化協議会			
開催日時	令和8年6月1日（月）午後2時00分～午後3時30分			
開催場所	阿見町役場 3階 301会議室			
事務局(担当課)	産業建設部都市計画課	オブザーバー	茨城大学教授 平田輝満	
出席委員人数	20名（うち5人代理） ※委員総数28名		傍聴人数	0人
議題	(1) 承認事項 【認定第1号】 令和7年度阿見町地域公共交通活性化協議会事業報告について 【認定第2号】 令和7年度阿見町地域公共交通活性化協議会収支決算書及び令和7年度収支決算監査報告について (2) 協議事項 【議案第1号】 令和9年度「地域公共交通確保維持事業に係る計画」の策定について (3) 報告事項 【報告第1号】 令和7年度阿見町デマンドタクシー＜あみまるくん＞の運行概要・実績について 【報告第2号】 阿見町公共交通に関するアンケート調査の結果について 【報告第3号】 令和7年度茨城大学への委託研究に関する調査研究業務実績について (4) その他 なし			
会議録署名人	西津 芳則委員 武井 浩委員			
次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 委員の紹介 4 議事 (1) 承認事項 2件 (2) 協議事項 1件 (3) 報告事項 3件 ※各事項については「議題」のとおり 5 その他 6 閉会			

<議事内容> ○：委員 ●：事務局 ◎：オブザーバー

・【認定第1号】令和7年度阿見町地域公共交通活性化協議会事業報告について

・【認定第2号】令和7年度阿見町地域公共交通活性化協議会収支決算書及び
令和7年度収支決算監査報告について

- 事務局：【認定第1号】令和7年度阿見町地域公共交通活性化協議会事業報告、
【認定第2号】令和7年度阿見町地域公共交通活性化協議会収支決算書及び
令和7年度収支決算監査報告について報告。
・質問なし。

○議長（会長）：本認定について、原案のとおり承認とする。

・【議案第1号】令和9年度「地域公共交通確保維持事業に係る計画」の策定について

- 事務局：【議案第1号】令和9年度「地域公共交通確保維持事業に係る計画」の
策定について説明。
・質問なし。

○議長（会長）：本議案について、原案のとおり承認とする。

・【報告第1号】令和7年度阿見町デマンドタクシー＜あみまるくん＞の
運行概要実績について

- 事務局：【報告第1号】令和7年度阿見町デマンドタクシー＜あみまるくん＞の
運行概要・実績について報告。
・質問なし。

・【報告第2号】阿見町公共交通に関するアンケート調査の結果について

- 事務局：【報告第2号】阿見町公共交通に関するアンケート調査の結果について報告。
・質問なし

・【報告第3号】令和7年度茨城大学への委託研究に関する調査研究業務実績について

◎オブザーバー：【報告第3号】令和7年度茨城大学への委託研究に関する調査研究
業務実績について報告。

○議長（会長）：AI活用で予約がとりにくいという課題解決や乗合率の向上に繋げることが
できないものかという思いがある。例えば君原から東京医大を繋ぐルート
を作り、Web等で運行状況を公開することで、ルート上の登録者は「可視化」

された情報をもとに予約し、乗車することができる。乗合率については、今年度、茨城大学の研究で結果を出していただきたい。

○委 員：デマンドタクシーの主な利用者は高齢者であるため、新たな取り組みについての理解や浸透には時間がかかるが徐々に定着はしていく。取り組みに参加することのメリットを説明する必要があるが、1週間前のように早く予約するインセンティブについては、高齢者だと予約を忘れてしまう可能性があると思う。

○委 員：高齢者と話す機会があるが、デマンドタクシーについてはよく話題に上がる。高齢の利用者は、書面での案内は理解が難しい。このような取組があるのであれば対面での説明が最も理解できると思う。実証実験の案内も含め、内容をまず私に説明いただければ、周知に協力することができる。

○議長（会長）：他に乗合率・乗車率を高める案はあるか。

○委 員：そもそも乗合タクシーでありながら、なぜ乗合率を高めることができないのか。

●事務 局：基本的に予約は空きがある限り順次追加しているが、先の予約が優先となるため時間や目的地が同じ・あるいは近しいのであれば乗合することができるよう予約センターで調整を行っている。しかし、時間や運行ルートが合致せず、乗合率が伸び悩んでいる。

○委 員：承知した。乗合率を高める案として長野県伊那市の事例を紹介したい。ここでは、デマンドタクシーの運行ルートをAIが調整し、ドライバーへ指示を送信する仕組みを採っており、運行する車両が乗合になるように心がけている。ただし、システムの運用コストが高いことと、乗合となった場合、複数の利用者の乗降場所を経由するため、目的地への到着が遅くなるという2つのデメリットがある。そのため、目的地に早く到着したい人については一般タクシーの利用を促しているようである。

○議長（会長）：あみまるくんの予約は、現状アナログで調整していることを踏まえれば、一度伊那市に視察に行ってはどうか。デマンドタクシーの増車以外にも良い方法があると思う。

◎オブザーバー：伊那市のデマンドタクシーはリアルタイムの予約制か、事前予約制か。

○委 員：基本は事前予約制を採用している。ただし、当日9時までは当日の予約が可能である。運行区域が広いため、タクシー10台で運行している。

◎オブザーバー：承知した。

○委 員：【報告第2号】阿見町公共交通に関するアンケート調査の結果から、デマンドタクシーが使えずとも、公共交通機関等の異なる手段を使っており、利用者は困っていないということだった。これこそが、デマンドタクシーの乗合率が伸び悩んでいることの一因ではなかろうか。

○議長（会長）：デマンドタクシーの利用者が公共交通機関利用していることについては、一概に悪いことではない。他の乗客と乗合になることを許容できる利用者に絞ってデマンドタクシーを運行することで、町内タクシー会社との共存が可能だと思う。

○委 員：あみまるくんは乗合タクシーだが、実態は時間に拘束されており、利用者は一般的なタクシーと同じように認識している節がある。1人の利用者

サービスを提供しているわけではないため、予約時間に間に合わないこともある。そのことから、利用者には時間に余裕をもって予約していただけるような仕組みづくりやシステムの改善を希望する。

- 事務局：デマンドタクシーの利用者は「デマンドタクシーは時間通りに来るものだ」という認識が定着しており、時間に対しての行動の変更について許容性が低い。茨城大学の研究報告において言及があったように、デマンドタクシーは税金を投じて多くの町民にご利用いただけるように運行することを想定しているため、利用者には多少なりとも許容していただく必要がある。また、予約システムについては余裕を持たせる設定に変更することで、乗合率を向上させることができる可能性はあるが、普段より時間を要して目的地に到着する場合もあるため、設定の変更は上手く対処する必要があると考える。

- 委員：デマンドタクシーで通院する利用者から、診察時間より30分～1時間早く到着したいという意見を聞く。予約の際に、予約希望者から病院の診察時間を聞き取り、前倒しにした時間でのご案内を行うことで、同じ目的地の利用者を1つの便に集約することが可能ではないか。

- 事務局：現状、利用者の診療時間と予約希望時間を加味した予約方法を採用している。具体的には、予約センターのオペレーターは予約希望者に対し、病院の診察時間を聞き取ったうえでシステムに表示される時間を案内している。

- 委員：承知した。診察時間より早く到着したい人は、余裕をもって到着し受付を済ませたいという意図がある。往路だけでも検討いただけると幸いだ。

- 事務局：参考に検討させていただく。

阿見町地域公共交通活性化協議会会議運営規程第6条により、署名する。

署名委員名 西津 芳則 ㊞

署名委員名 武井 浩 ㊞